



令和3年度 第1回共同機構研修会

令和3年4月21日(水)

心を育むとは

～子どもの心が負の側に傾いたとき～

講師 鯨岡 峻 京都大学名誉教授

「心を育てる」ことを園の目標に掲げていない園はないといっても過言ではありません。けれども、頑張る行動の裏には「頑張る心がある」、協調する行動の裏には「協調する心がある」というように、目に見える行動から目に見えない心の存在を推論してはいないでしょうか。これまで「心の育ち」と言われてきたものの大半は、行動の育ちを問題にしたものです。特に子どもの心が負の側に動いたとき、負の行動への対応を問題にするだけで、負の心にどのように対応したらよいか、子どもの心が負の自己感（負の心の動きに支配された自己についてのイメージ）に陥らないか、これまでほとんど考えられてきませんでした。

そもそも目に見えない心とはどのようなものでしょうか。心は、自分の興味や関心や欲求を追い求めようとする「自己充実欲求」と誰かと気持ちを繋いで安心感や満足感を得たいと思っている「繋合希求欲求」の二面性を持ちます。そしてそれぞれの欲求が満たされたり満たされなかったりすることから、心が正の側や負の側の間を揺れ動きます。一度築いた信頼関係が何かをきっかけに崩れてしまうこともあります。ここが運動や認知の能力が累積していくのとは違うところです。目に見えるところで子どもに関わっていると、子どもの心の動きは掴めません。「いま、ここ」で感じるものとしての心の動きを「接面」から捉えることがとても重要です。保育者がこうした正負両面の子どもの心の動きを捉えようとするとは、そこでそれに沿った対応を紡ぎ出すためにも、また一人の子どもをまるごと理解する上にも欠かせないはずで

子どもの心が負の側に傾きかけた時に、まず考えなければならないのは、その子の思いをしっかり受け止め、その存在を尊重する「養護の働き」でしょう。それが不十分なままに、負の心の動きから派生する負の行動を抑えにかかる強い対応こそ、心を育むことから遠くなる対応です。子どもは受け止め認めてもらった喜びを楳子に、自分の内部に前向きな気持ちが動き始めます。その気持ちを見定めながら、子どもが一人前の大人に近づいてくることができるように様々に「教育の働き」を振り向けていくことが大切なのではないでしょうか。その子がどのような負の心を動かしているかに目を向け、それを修復して、正の自己感に立ち返ることができるようにもっていくところに、本当の心を育む営みがあるのです。

*上記の要約は、講義をもとに編集したものです。

DVD貸出中

共同機構研修のDVDで学びませんか？

コロナ禍で様々な研修が中止や規模の縮小となり「もっと知りたい!学びたい!」そんな欲求が高まっているみなさんにピッタリな物があります。

『こどもみらい館の研修DVD』は、コロナ禍でも貸出ししています。

「良かったよ」
の声

園内研修として…

- * 同じ研修を見ることで、目指す方向性が確認出来ました。
- * DVD研修は、くり返し見られ、自分の合間の時間に見られました。

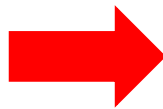
明日の保育に生かす・・・

- * 作業療法支援とはどのようなものか、よく理解できた。簡単な判断の仕方や取り入れたい遊び、大切な感覚など、日々の保育に取り入れたい。(「困り感を持つ子どもへの作業療法支援」 灘 裕介 さん)
- * 『たかが砂遊び、されど砂遊び』の言葉が印象的。環境を整えるのは、私たち保育者の仕事であると気持ちを引き締め努力したい。遊びを豊かにできる道具や関わりを考えていきたい。(「砂遊びからみる乳幼児期の発達と保育の課題」 笠間 浩幸さん)
- * コロナ禍でみんなが不安を抱える中、その場の状況に対する『意味』と『見通し』を持てるよう働きかけることが重要だと思った。(困りを持つ子どもとその保護者への支援
～災害時に大切な心のケアの基本を含めて～ 坂本 理さん)

～園内研修でも、お一人からでも～

「どんな研修があるの?」「どうやって借りたらいいの?」

ホームページより



共同機構研修を DVDでお届けしています

こどもみらい館の共同機構研修では、今までに開催した研修会のDVDを研修会参加施設の職員研修に限り貸し出しています。

90秒で中身が分かる要約で
内容がチェックできます。

DVDの内容
はこちらから

DVD一覧 利用方法 申込み紙 報告用紙

申込み用紙は手書きでOK

子どもを育む喜びを感じ、
親も育ち学べる取組を進めます。

[京都市はぐくみ憲章]より



この印刷物が
不要になれば
「雑がみ」として
古紙回収等へ!



発行日 令和3年5月24日
発行者 京都市子育て支援総合センターこどもみらい館
〒604-0883 中京区間之町通竹屋町下る楠町 601-1
Tel : (075)254-5001 Fax : (075)212-9909
URL : <https://www.kodomomirai.city.kyoto.lg.jp/>